

模範となる安全管理を

西田社長が現場パトロール

大成ロテック

大成ロテックの西田義則社長（左）は16日、南関東支社の現場である「東京国際空港N地区エプロン他舗装等工事」（羽田空港）で安全パトロールを行った。

総評で西田社長は「重機・車両・人の区画が徹底されていないと死亡災害に繋がるリスクが大き

くなる。重機災害を防ぐために何をするかを考え、決意を持ってやらなければならぬ。道路業界のリーダー企業として模範となる安全管理を行うこと」と訓示した。パトロール終了後には、同現場に従事する若手社員との意見交換会を開き、「余暇や趣味も仕事に生



かし、自ら成長していくことの重要性について」など活発な意見交換を行った。